

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	選択
担当教員			
前田 拓生			
A (会計学科)	S (専門科目)	FN (金融)	301 (上級科目)

授業のねらい (概要)	<p>本講義では、適正な経営を行う能力と態度を持った人材を養成するために、企業の資金調達に関する基礎的な知識を習得させ、資金調達の基本的な仕組みを習得する。そこで、まず、企業の資金需要や資金調達の形態について概説したうえで、借入れの種類と返済方法や借入金利とメインバンク制について学習するとともに、実践的な資金調達方法、M&amp;A等についても学習する。</p> <p>本科目では、DPに掲げた「財務分析を行い、経営改善に関する助言を行える能力」を養うことを目的とする。具体的には、企業の資金調達に関する基礎的な知識を習得させ、資金調達の基本的な仕組みについて理解することにより、適正な経営を行う能力と態度を育てることを目的とする。企業の資金需要や資金調達の形態について概説したうえで、借入れの種類と返済方法や借入金利とメインバンク制について学ぶとともに、担保、保証、社債の種類、公募債と私募債、格付け、株式による資金調達、企業の合併・買収について学習する。</p>
授業計画	<p>第1回 【遠隔】資金調達論とは 本講義の目的の他、イントロダクションとして資金調達論の概要を解説し、授業の進め方・注意事項等についても説明する。 予習 (120分)：本シラバスを熟読する 復習 (120分)：資金調達についてネット等で調べる</p> <p>第2回 【遠隔】企業の資金需要 企業における資金需要について学ぶ 予習 (120分)：トレードオフについてネット等で調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第3回 【遠隔】資金調達の形態 資金調達におけるさまざまな形態について学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第4回 【遠隔】借入れの種類と返済方法 借入れにおける種類とその返済方法について学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第5回 借入金利とメインバンク制 借入金利について学ぶとともに、メインバンク制についても学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第6回 担保 借入等の際の担保について学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第7回 【課題】保証 借入等の際の保証について学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日のFWで学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第8回 社債の種類 社債におけるさまざまな種類について学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第9回 公募債と私募債 募集方法の違いにおける債券について学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第10回 【課題】格付け 社債等の格付けについて学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第11回 株式による資金調達 エクイティファイナンスについて学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第12回 企業の合併・買収 M&amp;Aについて学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第13回 【課題】アセット・ファイナンス アセット・ファイナンスについて学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第14回 ベンチャー・ファイナンス ベンチャー・ファイナンスについて学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる</p>

	<p>第15回 復習 (120分) : 本日の講義で学んだことをノート等にまとめる 総括 これまでの講義を総括する 予習 (120分) : 本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分) : これまで学んだことをノート等にまとめる</p>
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	<p>DP(商学部会計学科)の以下の項目を意識した科目となっている。 財務分析を行い、経営改善に関する助言を行える能力</p> <p><b>【身に付くスキル】</b> 協働力・表現力</p>
到達目標	<p>下記の3つを到達目標に掲げる。 ①企業の資金調達に関する基礎的な知識を習得する。 ②資金調達の基本的な仕組みを理解する。 ③実践的な資金調達方法、M&amp;A等を習得する。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<p>課題等を提出した場合、注意点等を赤字で記入の上、返却する</p>
履修上の注意	<p>次の事項について十分に注意をすること。①病気等やむを得ない欠席の場合には事前に担当教員に連絡をする。②欠席(公欠を含む)5回で履修放棄と見なす。③グループ討議等を指示された場合は、積極的に意見を述べ合い、時間内に発表できるよう全員で協力する。</p>
成績評価の方法・基準	<p>試験70%、学修意欲30%</p>
教科書	<p>教科書：特になし。講義レジュメで授業を行う。</p>
参考書・教材	<p><b>【参考書】</b>参考書：中島真志(2015)『入門 企業金融論』東洋経済新報社、松田千恵子(2007)『ファイナンスの理論と実務』金融財政事情研究会、前田拓生(2013)『成熟経済下における日本の金融のあり方』</p> <p><b>【教材】</b>講義では主にレジュメを利用して進行する予定である。その際はmellyからレジュメをダウンロードして使用すること。</p>
備考	<p>講義科目／実務家教員による授業</p> <p>第7回 当初シラバスの「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信、および作業指示をmellyなどで行い、調査結果の小レポート作成や提出は当初シラバス通りに実施する。これらの指示確認等を5、6回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。</p> <p>第10回 第7回同様の実施として、指示確認を8、9回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。</p> <p>第13回 第7回同様の実施として、指示確認を12、14回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。</p> <p>成績評価の方法・基準 欄の「定期試験」は、本学の感染状況への対応を踏まえて「最終レポート」で代替することがある。その場合には速やかにmelly及び授業で実施方法の詳細と評価基準を受講生に告知する。</p>
教員との連絡方法	<p>メール (アドレスは授業内で周知)</p>